

令和 6 年 度 決 算 に 係 る

定 期 監 査

資 料

決 算 審 査

令和 7 年 8 月

教育委員会事務局体育保健課

## 目 次

1 前年度監査委員指摘事項等に対する措置等	1 頁
○ 定期監査	
(1) 勧告事項	
(2) 指摘事項	
(3) 監査意見	
○ 決算審査監査意見	
2 職員の定員、現員調べ	2 頁
3 役付職員の調べ	2 頁
4 決算資料	3 頁
5 事業別実施状況調べ	3 頁
6 主な事業に関する調べ	別紙
7 現金の取扱状況	該当なし
(1) 現金取扱状況	
(2) つり銭の状況	
8 財産に関する調べ	9 頁
(1) 公有財産	
(2) 金券類の保有状況	
(3) 基金	
(4) 債権	
9 財産の貸付け及び使用許可調べ	該当なし
(1) 土地及び建物	
(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
10 借受不動産明細調べ	該当なし
11 寄附物件の受納状況調べ	該当なし
12 備品の処分状況調べ	該当なし
13 貸付金等状況調べ	該当なし
(1) 総括表	
(2) 償還状況	
14 税外収入未済額調べ	該当なし
15 歳入欠陥に関する調べ	10頁
○ 重点事項に関する項目	該当なし
○ 意見、要望等	該当なし

1 前年度指摘事項等に対する措置等

○定期監査

(1) 勧告事項

勧 告 事 項	措 置 状 況 等
該 当 な し	

(2) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
会計年度任用職員に係る報酬について支払が遅延していた。	<p>1 措置状況：措置済</p> <p>2 講じた措置内容</p> <p>2校に勤務していた会計年度任用職員の死去に伴う遺族への未払い分の報酬の支払いにおいて、当課担当者は1校当たりの金額×2校分の支払が必要であるとメールで示したつもりであったが、教育人材開発課の事務担当者は記載された金額が2校分の総額であると誤認した。</p> <p>年度途中で報酬の支払いの相手方が変更となる場合、メールに本文のほか表に変更前後の金額を明示し、課内で簡易決裁を行った上で教育人材開発課に送信するとともに、電話等で確認を取ることで誤認を防止し、両課の情報共有及び連携を行うことを課内で共有した。</p>

(3) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
該 当 な し	

○決算審査監査意見

決 算 審 査 意 見	処 理 状 況 等
該 当 な し	

## 2 職員の定員、現員調べ

(4月1日現在)

種別 区分	事務職員	技術職員	現業職員	合 計	会計年度 任用職員	臨時的 任用職員	備 考
定 員 (A)	( 11 ) 11	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 11 ) 11	( 2 ) 2	( 0 ) 0	
現 員 (B)	( 11 ) 11	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 11 ) 11	( 2 ) 2	( 0 ) 0	一般事務 1、部活動コーディネーター 1
育児休業等	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 0 ) 0	
過不足 (△) (B - A)	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 0 ) 0	

## 3 役付職員の調べ

(8月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
体育保健課長	山本 雅丈	年: 月 2: 4	
課長補佐	清水 凡子	: 4	

#### 4 決算資料

(1) 一般会計(歳入・歳出)

別添「歳入決算調書」及び「歳出科目別決算調書」のとおり

#### 5 事業別実施状況調べ

(単位:円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・ 成果、繰越、不用額の理由 等																						
	当初 予算額	補正 予算額	継続費及び繰越 事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計 A																											
(保健体育総務費)																																
児童生徒健康問題対策事業	1,684,000	0	0	92,954	1,776,954	1,336,285	0	440,669	75%																							
生活習慣、心や性、薬物乱用など児童生徒の健康問題が多様化・複雑化していることから、児童生徒の実態に合った様々な研修会や派遣事業等を実施した。																																
<table><tr><th>研修名</th><th>期日</th><th>参加対象者</th><th>参加人数</th></tr><tr><td rowspan="2">がん教育推進協議会</td><td>第1回: R6.8.8(木)</td><td rowspan="2">委員: 大学教授、医師、がん患者団体、教職員等</td><td>16名</td></tr><tr><td>第2回: R7.1.30(木)</td><td>18名</td></tr><tr><td>がん教育啓発研修会(動画配信)</td><td>R6.11.18(月)～R7.1.31(金)</td><td>教職員、市町村教育委員会担当者等</td><td>32名</td></tr><tr><td>心や性の専門家派遣事業</td><td>通年</td><td>県立学校児童生徒、教職員等 ※28校延べ58回</td><td></td></tr></table>											研修名	期日	参加対象者	参加人数	がん教育推進協議会	第1回: R6.8.8(木)	委員: 大学教授、医師、がん患者団体、教職員等	16名	第2回: R7.1.30(木)	18名	がん教育啓発研修会(動画配信)	R6.11.18(月)～R7.1.31(金)	教職員、市町村教育委員会担当者等	32名	心や性の専門家派遣事業	通年	県立学校児童生徒、教職員等 ※28校延べ58回					
研修名	期日	参加対象者	参加人数																													
がん教育推進協議会	第1回: R6.8.8(木)	委員: 大学教授、医師、がん患者団体、教職員等	16名																													
	第2回: R7.1.30(木)		18名																													
がん教育啓発研修会(動画配信)	R6.11.18(月)～R7.1.31(金)	教職員、市町村教育委員会担当者等	32名																													
心や性の専門家派遣事業	通年	県立学校児童生徒、教職員等 ※28校延べ58回																														
※薬物乱用防止教育研修会については、県福祉保健部主催の「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動鳥取県大会」への参加に代えため、R6年度は未開催																																
学校安全対策事業	3,399,000	0	0	△ 423,014	2,975,986	1,877,486	0	1,098,500	63%																							
児童生徒が安全・安心な学校生活を送るために、「生活」「交通」「災害」の側面から、学校の安全教育・安全管理及び学校・家庭・地域が連携した、質の高い学校安全の取組が推進されるよう事業を行った。																																
<table><tr><th>事業名等</th><th colspan="3">内容等</th></tr><tr><td>学校安全総合支援事業(国事業)</td><td colspan="3">県立米子西高等学校及び鳥取市立鹿野学園が拠点校となり、校区の学校、地域、関係機関と連携した避難訓練や防災教育を実施</td></tr><tr><td>学校の防災教育への専門家派遣事業</td><td colspan="3">学校防災アドバイザー、鳥取地方気象台担当者等を講師として派遣(71件)</td></tr><tr><td rowspan="2">学校安全研修会</td><td>第1回: R6.10.15(火)</td><td rowspan="2">教職員、市町村教育委員会担当者等を対象に安全教育・安全管理の充実と安全意識の高揚を図った。</td><td>111名</td></tr><tr><td>第2回: R6.12.19(木)</td><td>99名</td></tr><tr><td>地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業(国事業)</td><td colspan="3">警察官OBや防犯の専門家等(スクールガード)による見守りの充実等により、通学路等学校の見守り体制の強化を図った。(R6年度: 伯耆町、大山町)</td></tr></table>											事業名等	内容等			学校安全総合支援事業(国事業)	県立米子西高等学校及び鳥取市立鹿野学園が拠点校となり、校区の学校、地域、関係機関と連携した避難訓練や防災教育を実施			学校の防災教育への専門家派遣事業	学校防災アドバイザー、鳥取地方気象台担当者等を講師として派遣(71件)			学校安全研修会	第1回: R6.10.15(火)	教職員、市町村教育委員会担当者等を対象に安全教育・安全管理の充実と安全意識の高揚を図った。	111名	第2回: R6.12.19(木)	99名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業(国事業)	警察官OBや防犯の専門家等(スクールガード)による見守りの充実等により、通学路等学校の見守り体制の強化を図った。(R6年度: 伯耆町、大山町)		
事業名等	内容等																															
学校安全総合支援事業(国事業)	県立米子西高等学校及び鳥取市立鹿野学園が拠点校となり、校区の学校、地域、関係機関と連携した避難訓練や防災教育を実施																															
学校の防災教育への専門家派遣事業	学校防災アドバイザー、鳥取地方気象台担当者等を講師として派遣(71件)																															
学校安全研修会	第1回: R6.10.15(火)	教職員、市町村教育委員会担当者等を対象に安全教育・安全管理の充実と安全意識の高揚を図った。	111名																													
	第2回: R6.12.19(木)		99名																													
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業(国事業)	警察官OBや防犯の専門家等(スクールガード)による見守りの充実等により、通学路等学校の見守り体制の強化を図った。(R6年度: 伯耆町、大山町)																															
【不用額の理由】文部科学省の事業活用や気象台担当者等を講師として派遣することによる謝金の執行残等によるもの。																																

(単位:円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・ 成果、繰越、不用額の理由 等																								
	当初 予算額	補正 予算額	継続費及び繰越 事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計 A																													
学校保健教育指導費	92,367,000	0	0	2,150,283	94,517,283	61,989,805	0	32,527,478	66%																									
<p>県立学校の児童生徒の健康の保持増進を図るため健康診断等を実施するとともに、学校管理下において災害にあった児童生徒に対し、医療費等の災害共済給付金の支給を行った。</p> <p>災害共済給付金の状況 (単位:件、円)</p> <table><tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>給付件数</td><td>2,478</td><td>2,418</td><td>2,188</td><td>2,427</td><td>2,175</td></tr><tr><td rowspan="2">給付金額</td><td>(5,900,000)</td><td>(80,000)</td><td>(7,400,000)</td><td>—</td><td>(3,100,000)</td></tr><tr><td>26,197,852</td><td>21,559,881</td><td>26,307,286</td><td>19,080,987</td><td>22,985,143</td></tr></table> <p>( )は死亡・障害見舞金で内数</p> <p>【不用額の理由】災害共済給付金の執行残によるもの。</p>											区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	給付件数	2,478	2,418	2,188	2,427	2,175	給付金額	(5,900,000)	(80,000)	(7,400,000)	—	(3,100,000)	26,197,852	21,559,881	26,307,286	19,080,987	22,985,143	
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																													
給付件数	2,478	2,418	2,188	2,427	2,175																													
給付金額	(5,900,000)	(80,000)	(7,400,000)	—	(3,100,000)																													
	26,197,852	21,559,881	26,307,286	19,080,987	22,985,143																													
令和7年度 全国高等学校 総合体育大会(中国 ブロック)開催事業	222,919,000	0	0	3,208,000	226,127,000	70,070,565	141,007,000	15,049,435	31%																									
<p>令和7年度に中国5県で開催される全国高等学校総合体育大会のうち、鳥取県において相撲、ホッケー、自転車(トラックレース、ロードレース)、弓道、ウエイトリフティングの5競技を開催するため、令和6年度には県実行委員会を設立し、大会開催に向けた準備を行った。</p> <p>倉吉自転車競技場走路改修工事について、降雪等の天候状況によっては令和6年度内での事業完了が困難であるため令和7年度に繰り越した。</p>																																		
学校給食・ 食育推進事業	347,000	0	0	0	347,000	250,370	0	96,630	72%																									
<p>給食管理の中心的役割を担う栄養教諭・学校栄養職員の資質向上のための研修会を実施するとともに、地産地消の推進及び学校給食を活用した食育の充実を図った。また、各地区における衛生管理研究会等において、学校給食の衛生管理や食物アレルギー対応の徹底を図った。</p> <p>ア 委託事業</p> <table><tr><th>委託先</th><th>事業の内容</th></tr><tr><td>(公財)鳥取県学校給食会</td><td>栄養教諭・学校栄養職員を対象に、地場産物を活用した調理の工夫を学び、学校給食の充実を図る調理実習をR6.10.3(木)、R6.10.4(金)に実施した。</td></tr></table> <p>イ 研修会</p> <table><tr><th>研修名</th><th>期日</th><th>参加対象者</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>県産品利用(地産地消)推進会議</td><td>R6.6.27(木)</td><td>学校給食関係者、関係機関</td><td>38名</td></tr><tr><td>栄養教諭食育研修</td><td>R6.11.13(水)</td><td>栄養教諭</td><td>21名</td></tr><tr><td>栄養教諭研修</td><td>随時</td><td>5年及び10年経験者</td><td>4名</td></tr><tr><td>学校栄養職員研修</td><td>随時</td><td>5年及び10年経験者</td><td>3名</td></tr></table>											委託先	事業の内容	(公財)鳥取県学校給食会	栄養教諭・学校栄養職員を対象に、地場産物を活用した調理の工夫を学び、学校給食の充実を図る調理実習をR6.10.3(木)、R6.10.4(金)に実施した。	研修名	期日	参加対象者	参加人数	県産品利用(地産地消)推進会議	R6.6.27(木)	学校給食関係者、関係機関	38名	栄養教諭食育研修	R6.11.13(水)	栄養教諭	21名	栄養教諭研修	随時	5年及び10年経験者	4名	学校栄養職員研修	随時	5年及び10年経験者	3名
委託先	事業の内容																																	
(公財)鳥取県学校給食会	栄養教諭・学校栄養職員を対象に、地場産物を活用した調理の工夫を学び、学校給食の充実を図る調理実習をR6.10.3(木)、R6.10.4(金)に実施した。																																	
研修名	期日	参加対象者	参加人数																															
県産品利用(地産地消)推進会議	R6.6.27(木)	学校給食関係者、関係機関	38名																															
栄養教諭食育研修	R6.11.13(水)	栄養教諭	21名																															
栄養教諭研修	随時	5年及び10年経験者	4名																															
学校栄養職員研修	随時	5年及び10年経験者	3名																															

(単位:円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・ 成果、繰越、不用額の理由 等
	当初 予算額	補正 予算額	継続費及び繰越 事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計 A					
県立学校給食費	157,079,000	0	0	△ 929,223	156,149,777	154,363,262	0	1,786,515	99%	
	県立特別支援学校の給食運営及び調理を委託し、給食を実施した。 また、夜間定時制高等学校に通学する生徒に対し、夜食(パン、牛乳)の提供を行った。									
学校給食等 負担軽減事業	3,000,000	0	0	0	3,000,000	2,659,915	0	340,085	89%	
	食材等の高騰により学校給食費、寄宿舎食費を値上げせざるを得ない県立学校について、学校給食費等の値上額を支援すること等により保護者の負担軽減を行った。(令和6年4月～6月)									
県立特別支援学校給食費等負担軽減事業(国補正分)	0	3,500,000	0	0	3,500,000	2,234,939	0	1,265,061	64%	
	食材等の高騰により学校給食費、寄宿舎食費を値上げせざるを得ない県立学校について、学校給食費等の値上額を支援すること等により保護者の負担軽減を行った。(令和7年1月～3月) 【不用額の理由】補助金が交付見込み額を下回ったことによる執行残によるもの。									
県立高校体育施設修繕費	0	120,488,000	0	0	120,488,000	0	120,488,000	0	0%	
	県立八頭高等学校ホッケー場メインフィールドの人工芝について、耐用年数が概ね経過し経年劣化が生じていたことから、人工芝の全面張替を実施した。(継続費:令和6年度～令和7年度) 令和6年度は委託料の支出実績がなかったため、全額通次繰越を行い、令和7年度に支出する。									
目計	480,795,000	123,988,000	0	4,099,000	608,882,000	294,782,627	261,495,000	52,604,373	48%	

(単位:円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・ 成果、繰越、不用額の理由 等	
	当初 予算額	補正 予算額	継続費及び繰越 事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計 A						
(学校体育振興費)											
子どもの体 力向上推進 プロジェクト 事業	2,387,000	0	0	△ 280,000	2,107,000	1,727,363	0	379,637	82%	子どもの体力・運動能力が低下し、二極化の傾向にある鳥取県の課題を解決し、運動の習慣化及び体力の向上を図るため、学校や地域に対して次の事業を行った。	



(単位:円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・ 成果、繰越、不用額の理由 等
	当初 予算額	補正 予算額	継続費及び繰越 事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計 A					
学校関係体育大会推進費	38,188,000	0	0	△ 308,000	37,880,000	37,647,347	0	232,653	99%	
1 高等学校体育大会(鳥取県高等学校体育連盟)										
(1) 県高等学校総合体育大会開催事業補助金 900,000円										
競技名		期日			場所		競技数	参加生徒数		
陸上競技他		令和6年5月18日～6月23日(分散開催)			鳥取市他		34	4,896名		
駅伝		令和6年11月3日			竜ヶ山陸上競技場発着特設コース		2	157名		
スキー		令和7年1月8日～10日			わかさ氷ノ山スキー場			14名		
(2) 中国ブロック高等学校体育大会開催事業補助金 280,000円										
競技名		期日			場所		参加生徒数			
陸上競技		令和6年6月13日～16日			鳥取市		1,242名			
剣道		令和6年6月14日～16日					469名			
(3) 全国高等学校総合体育大会派遣事業補助金 34,047,347円										
開催地		期日			競技数	参加生徒数				
夏季大会(北部九州他)		令和6年7月23日他			31	502名				
冬季大会(京都府他)		令和6年12月22日他			4	54名				
2 中学校体育大会(鳥取県中学校体育連盟)										
(1) 県中学校総合体育大会開催事業補助金 400,000円										
競技名		期日			場所		競技数	参加生徒数		
陸上競技他		令和6年7月13日～23日(夏季) 令和6年9月1日(スケート) 令和6年11月12日(駅伝) 令和7年1月8日～10日(スキー)			鳥取市他		21	4,739名		
(2) 中国中学校体育大会開催事業補助金 420,000円										
競技名		期日			場所		参加生徒数			
水泳		令和6年8月2日～4日			米子市		280名			
新体操		令和6年8月3日～4日			鳥取市		63名			
バレーボール		令和6年8月6日～8日			鳥取市		305名			
(3) 全国・中国中学校体育大会派遣事業補助金 1,600,000円										
競技名		期日			場所		参加生徒数			
全国中学(全競技)		令和6年8月17日～25日他			北信越ブロック他		136名			
中国中学(全競技)		令和6年7月27日～8月9日他			中国ブロック		704名			

(単位:円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・ 成果、繰越、不用額の理由 等
	当初 予算額	補正 予算額	継続費及び繰越 事業費繰越額	予備費支出及び 流用増減	計 A					
(主) 運動部活動 推進事業	11,942,000	0	0	△ 700,040	11,241,960	9,418,041	0	1,823,919	84%	
	主な事業に関する調べのとおり									
(主) 部活動の地 域移行推進 事業	60,199,000	△ 11,000,000	0	△ 2,811,000	46,388,000	34,346,755	0	12,041,245	74%	
	主な事業に関する調べのとおり									
部活動の生 徒引率に係 る旅費支援 事業	20,000,000	0	0	0	20,000,000	19,592,434	0	407,566	98%	
	県立学校の部活動における生徒の移動の安全を確保し、併せて教職員の長時間運転の負担を軽減するため、公式大会等への移動に伴う経費の一部を支援した。(公式大会1大会あたり交通費の1/3(上限15万円)、その他1大会あたり交通費の1/4(上限10万円))									
令和9年度 全国学校体 育研究大会 開催準備事 業	320,000	0	0	0	320,000	157,980	0	162,020	49%	
	12月19日に実行委員会設立総会を行った。また、2月17日には体育主任連絡協議会において、県外講師を招聘し、本大会への周知や研究の方向性等について指導をしていただいた。 【不用額の理由】県実行委員会への補助金の執行残によるもの。									
目計	134,165,000	△ 11,000,000	0	△ 4,099,000	119,066,000	103,427,294	0	15,638,706	87%	
合 計	614,960,000	112,988,000	0	0	727,948,000	398,209,921	261,495,000	68,243,079	55%	

## 8 財産に関する調べ

## (1) 公有財産

## ア 土地

(3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減 理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
普通財産	学校給食総合センター	鳥取市安長	3,978.98	不明	増加 減少						3,978.98	不明	
計			3,978.98								3,978.98		

イ 建物 該当なし  
 ウ 山林 該当なし  
 エ 不動産売却等 該当なし  
 オ 財産の交換 該当なし  
 カ 動産（船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機） 該当なし  
 キ 物権 該当なし  
 ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし  
 ケ 有価証券 該当なし  
 コ 出資による権利 該当なし

## (2) 金券類の保有状況

## ア 金券の保有状況

	種 別
有	郵便切手 ・ 郵便はがき ・ 収入印紙 ・ 乗車券類 ・ タクシーチケット ・ その他（ ）
無	

## イ タクシーチケットの保有状況

(3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
22枚	0枚	0枚	22枚
		0円	

## (3) 基金

該当なし

## (4) 債権

(3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
			増		減				
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	
鳥取県学校給食総合センター敷地貸付	円 3,150,438	件 1	円	件	円 2,224,197	件	円 926,241	件 1	貸付期間 R2. 8. 31～R7. 8. 30

## 15 歳入欠陥に関する調べ

(単位:円)

事業名	区分	国庫支出金	起債	その他	一般財源	合計	歳入欠陥となった理由
令和7年度全国高等学校総合体育大会 (中国ブロック)開催事業	当初見込額 A		23,000,000	30,000,000	3,105,000	56,105,000	八頭高校ホッケー場のサブフィールド整備において、独立行政法人日本スポーツ振興センターが所管するスポーツ振興くじ(toto)助成金が当初想定していた金額の8割分である24,000千円での交付決定となったため
	実績額 B		28,000,000	24,000,000	4,105,000	56,105,000	
	差引(B-A)		5,000,000	▲6,000,000	1,000,000	0	
令和7年度全国高等学校総合体育大会 (中国ブロック)開催事業	当初見込額 A			80,000,000	59,507,000	139,507,000	倉吉自転車競技場の走路整備において、80,000千円に対して公益財団法人JKAが所管する補助金の充当を想定していたが不採択となったため
	実績額 B			0	139,507,000	139,507,000	
	差引(B-A)			▲80,000,000	80,000,000	0	
災害共済給付制度への加入	当初見込額 A			16,115,256	5,765,559	21,880,815	県立高校における加入希望者数の積算に誤りがあり、実際の加入者数より多くスポーツ振興センターに報告したことにより、当該1名分の保護者負担金を支払う必要が生じたため
	実績額 B			16,113,643	5,767,172	21,880,815	
	差引(B-A)			▲1,613	1,613	0	